

2017年11月

新型コントローラ＝『HV3』のご案内

皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素よりM-factory製品のご愛顧をいただき厚くお礼を申し上げます。

PUシステムの更なる進化を目指してコントローラ（プリアンプ）の設計を全て見直し、大幅に音質クオリティを向上させました。開発及びプロミュージシャンによるロードテストも完了し、このほど新製品として販売を開始する運びとなりました。



簡単に言いますと、PM-Tour（小型モデル）開発時に習得した音質クオリティを向上させる新技術＝「Tourテクノロジー」を

- ・PM-500 / HV3（従来のハーフラックサイズのコントローラ）
- ・PM-200 / HV3（従来のハーフラックサイズのプリアンプ）

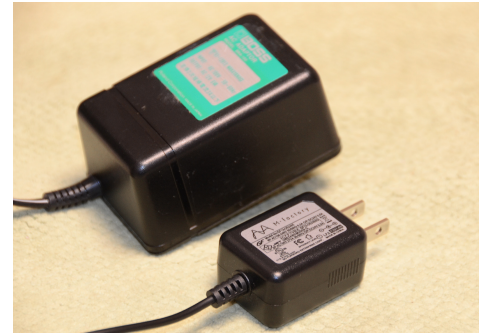
にフィードバックした製品です。

同時に、既存ユーザーのために過去の全てのバージョンのコントローラ、及びプリアンプ（PM-200）のバージョンアッププログラムも用意します。

※Tourシリーズ（小型モデル）は既に最新クオリティであり、バージョンアップは不要です。

新モデルの特徴

- ・ 大幅な音質クオリティの向上
- ・ 新機能の追加（外部スイッチによるボリュームコントロール）
- ・ MGチャンネル、位相切り替えSWの追加（PM-200 / HV3のみ）
- ・ 小型ワールドワイド対応電源
- ・ チューナー用の9V電源出力は廃止しました



対象機種

- ・ PM-500 / HV3：500シリーズ（旧#202専用コントローラ、5Pキャノン入力）
- ・ PM-200 / HV3：汎用2chプリアンプ（ステレオ・フォンジャック入力）

1) 開発の経緯

M-factoryのPUシステムは1988年から約30年に渡り多くの方にご愛顧頂いてきました。

今までミュート機能の追加や内部電圧のハイボルテージ化など、少しずつ進化させて参りました。

今回のバージョンアップにあたり、私が25年間に渡って企業の開発部門勤務で学んだ設計技術の全てを注いでデバイス一つ一つの細部まで徹底的に見直しました。

- ・ 全てのデバイス一つ一つの再検証
- ・ PCB基板パターン（M-factoryの製品はPCB基板も三好が設計しています）
- ・ PCBの穴サイズの再検討（部品と半田との関係性の追求）
- ・ ハンダ付けの仕方
- ・ 内部配線材の見直し

等々

自分でもとても興味深く感じているのですが、結果的に「回路図はほぼ同じ」となり、音の方向性は変えずに音質のクオリティだけが飛躍的に向上しています。

実はこの技術はTourシリーズ（小型）の開発時に習得した音質クオリティを向上させる新技術で、私は「Tourテクノロジー」と名付けています。

今回の新製品は、この「Tourテクノロジー」を従来のハーフラックサイズのコントローラ（PM-500 / HV3）とプリアンプ（PM-200 / HV3）にフィードバックした製品です。

ハーフラックサイズの方は大きさに少し余裕がありますので、「Tourテクノロジー」だけではなく、2つの新機能

- ・ シングルアウトのミュート機能
 - ・ A.V.C. (アドバンスド・ボリューム・コントロール) 機能※
- を追加しています。

※ A.V.C.機能：

マスターボリューム（赤いつまみ）がどの位置にあっても、フットSW等の操作で瞬時にフルボリュームになる機能。ブースター的な使用が可能です。

2) 新機能についての詳細

シングルアウトのミュート機能の追加

今までシングルアウトにはミュート機能を付けていませんでしたが、最近では某有名ギタリストの影響もあり、コントローラの出力信号として、ミックスアウトからだけではなくシングルアウトからの信号も利用するユーザーが増えて来ています。

そんなユーザーから要望があって、シングルアウトにもミュート機能を追加しました。

さらに万が一「ミュート状態から回復しない」といったトラブルが発生した場合にそれを回避出来るように、ミックスアウト／シングルアウトそれぞれに独立してミュート機能そのものを on/off できるスイッチも設けました。

A.V.C. 機能 (アドバンスド・ボリューム・コントロール)

フットSW等の操作でマスターボリューム（赤いつまみ）がどの位置にあっても、フルボリュームになる機能です。全く音質を変えることなく、完全にシームレス&ノイズレスに動作します。ストロークと指弾きの時の音量差の調整、リードギターを演奏する場面などでブースター的に使用できる機能です。



MGチャンネル、位相切り替えSWの追加（PM-200/HV3のみ）

ギターのPU信号の位相はとても複雑で、時にはコンタクトPUとマグネットPUの位相が逆になってしまう場合があります。そんな場合は低音を足そうとしてMGチャンネルのボリュームを上げてもあるポイントで低音が打ち消されてしまい、逆に低音が薄くなる、という現象が発生することがあります。

これはピックアップの影響だけでなく、各メーカーのギターの設計の違いによっても影響度が異なるものです。

こういったケースに出来るように、汎用プリアンプである「PM-200/HV3」にはMGチャンネルに位相切り替え機能を追加することにしました。

なお、500システム（旧#202システム）では出荷時調整の際に、ギター側の内部プリアンプでそれぞれのギターに合わせた正しい位相を設定していますので、コントローラ側での位相切り替えは不要です。



3) 価格について

価格に変更はありません。

- ・ 500システム：192,000円（税別）
- ・ PM-500 / HV3（コントローラのみ）：90,000円（税別）
- ・ 旧型コントローラ全て → PM-500 / HV3へのバージョンアップ：45,000円（税別）
- ・ PM-200 / HV3：92,000円（税別）
- ・ 旧型PM-200全てのモデル → PM-200 / HV3へのバージョンアップ：48,000円（税別）

4) 販売、及びバージョンアップの開始時期

- ・ 2017年12月1日より、新規、及びごバージョンアップのご注文をお受けいたします。
- ・ 半年以内（2017年6月1日以降）に新品で旧バージョンの製品を購入されたお客様には無償でバージョンアップ対応を致します。その際、送料等をご負担ください。
- ・ ~~バージョンアップの受け付けは、2018年5月末日までとさせていただきます。~~

期限は設けないことにしました、ゆっくりご検討下さい。（180515）

5) バージョンアップの詳細

【500システム】 旧名称＝#202システム、5Pキャノンコネクタ使用タイプ

過去の全ての製品から最新バージョンまで完全な互換性を保っています。従って、全てのバージョンから最新モデル（PM-500 / HV3）へのバージョンアップが可能です。

- ・ バージョンアップ価格 ：45,000円（税別）
- ・ バージョンアップ内容 ：メイン基板、及び背面パネルの交換、小型ACアダプタへの交換

【PM-200 / xx】 → PM-200 / HV3

- ・ バージョンアップ価格 ：48,000円（税別）
- ・ バージョンアップ内容 ：メイン基板、及び背面パネルの交換、小型ACアダプタへの交換、
MGチャンネルの位相切り替えSWの追加

※ ケース、ボリューム、つまみ、キャノンコネクタはそのまま利用します。

※ 傷の付いた天板や底板、古くなったキャノンコネクタなど、バージョンアップと同時にそれらのパーツの新品交換も可能です。別途ご相談下さい。

以上

M-factory / 三好英明

181-0011 東京都三鷹市井口 1-21-62-102

tel 0422-26-1030, fax 0422-33-2976

E-mail : m_factory@nifty.com